

おがまち日奈久ニュース

みんな上手だったバイ！ 楽しく盛り上がった日奈久ふれあい祭

第16回日奈久校区ふれあい祭は、温かい時期に開催するということで、3月9日(土)に日奈久ゆめ倉庫で開催となりました。あいにく、日奈久中学校の卒業式と重なりましたが、200名以上の参加者を得て、盛大に開催されました。

この日は大変よい天気恵まれ温かい一日となりました。会場には、早くから出演者、観客の方々が多く集まり、ポップコーンを受け取る列が出来ていました。

開会式が始まる頃には、会場はほぼ満員状態となりました。町田謙二スポーツ文化部長の開会のあいさつの後、日奈久小学校2年生15名の



元気で楽しいダンスや体操に会場は、一気に盛り上がりを見せました。その後は、日本舞踊・太極拳・カラオケ・リズム体操・ハワイアンダンス・合唱とステージ発表は8団体が、日頃の練習の成果を思う存分発揮されていました。あちこちで「上手だったよ」との声が聞かれました。

最後のお楽しみ抽選会でも当選者

平成31年4月号
(第116号)
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
(2月末現在)
男1214人
女1487人
計2701人
(21年末3444人)

が発表される度に、歓声が上がりが盛り上がりました。会場の外でも、婦人会バザーやひふみ館による朝市やミニゲームコーナーに大に汗を流した。実行委員の方々大変お疲れ様でした。

平成31年度 日奈久婦人会総会開催 4月19日(金)午前10時

新しい年度のスタートに際し、日奈久婦人会総会が開催されます。総会後の研修では、宇土市の婦人会長に、「平成28年4月に発生した熊本地震の時に、婦人会は他団体と連携し炊き出しを行い、地域防災が始まった」という経験を通してお話をしていただくという計画しています。

日時 4月19日(金)午前10時
場所 日奈久ゆめ倉庫
研修会演題
◆「自主防災について」
宇土市婦人会では
どう取り組んだか。

◆講師
宇土市地域婦人会連絡協議会会長
甲斐きみ子氏

「ありがとう」が
行き交うまち 日奈久
身近な人に「ありがとう」
愛する日奈久に「ありがとう」
訪れる人に「ありがとう」

婦人会だより

○「日奈久ふれあい祭」では、バザーへの物品提供、誠にありがとうございました。購入された方々は、一様に喜んでおられました。

まだ在庫があります。そこで、4月1日(月)から日奈久コミセンの玄関に展示しますので、ご覧下さい。
○今年も「ゴミリ団子」を作る予定です。ゴミリ団子ができ次第、申込書を回覧しますので、宜しくお願いします。

みんなで守ろう交通安全ルール 家庭内の会話



3月5日(火)、八代市の交通安全母の会において、八代警察署の方より、八代の最近の交通情勢について話がありました。

・横断歩道でない所を渡った事故
・信号無視しての交差点での衝突事故
・どちらも死亡事故だったとのこと。
歩く人も車を運転する人も交通ルールをしっかり守り、事故を起こさないようにしていかなければならないと思

4月の行事から

- 1日(月)新元号発表
- 2~3日(月)ばんぺい湯臨時休館
- 9日(火)日奈久小・中学校入学式
- 19日(金)日奈久婦人会総会
- 29日(月) 昭和の日
- 30日(火) 天皇陛下退位の日



住民自治会運営委から

入園・入学の月です。お子さんに、「道路を渡るときは、右を見て、左を見て、もう一度右を見て、車が来ていないかを確かめて渡るように」とご家庭でしっかり話をしたいです。
(交通安全母の会より)

駅ノートが

○阿久根からおれんじ鉄道に乗ってききました。駅近くの観光スポットを探して紹介されました。温泉も良かったです。サラダ入りちくわもおいしかったです。
○1944年(昭和19年)8月沖繩より学童疎開にきました。久しぶりに懐かしい日奈久の町に出会って最高の思い出です。
(F・TAKAYASU)

温泉センターばんぺい湯 4月2日(火)・3日(水)は臨時で休館します。

中村校長先生は、トロイの遺跡を発見したシュリーマンの話を紹介し、「夢に向かって努力すると生きる力が湧いてきます。夢は描くだけでは実現しません。しかし、夢に向かってこつこつ努力すれば必ず想像以上の素晴らしいことが出来るのです。命を大切にしながら自分の夢に向かって、生きていくって下さい。」と温かく語りかけられました。

街角スナップ

日奈久温泉駅のチューリップは満開(塩南町 井上朝雄さん提供)



大きく羽ばたけ日奈久っ子! 今、旅立ちの時! 日奈久小中学校で卒業式を挙



構成詩を演じる卒業生たち
(撮影 開田寿史さん)

中学校の卒業式は3月9日(土)に行われ、男子3名女子7名計10名の卒業生が巣立っていきました。宮川校長先生は式辞で、卒業生が3年前の入学直後に熊本地震の不安を経験したことを前置きにして、卒業生一人ひとりの学校内外での活躍と実績を紹介され、「これから壁を乗り越え、成長してほしい。多くの人に育てられ見守られてきた大切な命です。9年間で可能性を大きく伸ばしてきたことに誇りを持って生きてほしい。」

とはなむけの言葉を贈られました。卒業生代表の廣田亮翔さんは、3年間で経験し学んできたことをエピソードを交え振り返り「なかとともに笑い、泣き、助けあい、最高の思い出ができたこの3年間で、これからは忘れずに、自分の夢や理想に向かって頑張っていく」と思っています。私たち10名は、日奈久中学校で学んだことを誇りに生きていきます。「と力強く答辞を述べました。最後に卒業生全員で構成詩「時を越えて」を一語一語に心を込めて発表しました。



退場時に保護者の前に整列し、感謝と決意を述べる卒業生

その後、卒業生は、「飛躍・夢・挑戦」と題した卒業の詩を語りました。「私たちに夢があり、その夢に向かって頑張ります。この6年間成長できたのも、たくさん

(広告欄)

月を想う 春を待つ 第10回ひなぐ雛祭り閉幕

今年で10回目を迎えた「ひなぐ雛祭り」も、2月24日の「雛送りの儀」をもって終了しました。各催しも多くの方の来場があり、賑わいを見せました。また、「雛送りの儀」では、成長したかぐや姫の温かい笑顔と言葉が、寒い中、会場に詰めかけた人々の心の中に温かい風を運びました。



婦人会の雛ぜんざいは大好評。



チェロの演奏をバックに小学生5名、大人1名がそれぞれお世話になった人へありがとうのメッセージを発表。



うまいもん市は、大繁盛。



古布市は、綺麗な布に歓声が。



路地裏春探し。案内役の池田さんは丁寧に説明され、2時間半の散策でした。



蔵かに雛送りの行列がスタート。

女将カフェは、20分で100食が売り切れ、ワンコインで大満足の皆さん。(写真右)



竹灯りの優しい灯りは、日奈久の町を春色に彩りました。

成長したかぐや姫は、大坪町の磯崎姫奈さん。落ち着いてやさしく語り、大役を見事に務めました。(写真右)

《八代の雛祭りに寄せられた感想から》
○かぐや姫がともかわいかった。
○女将カフェの手作りランチがおいしかった。
○女将カフェがすてきなおもてなしでした。
○初めてひなぐ雛祭りに足を運び楽しい一日でした。女将カフェのランチがおいしかったです。
○女将カフェはいつも楽しみですが、今年の女将カフェのチケット販売は10時からだったのですね。知らない人が多かったです。
○温泉に入った後、お雛様を見たり一人でぐらぐら楽しかったです。
○日奈久のおもてなしがとても良かったです。
○初めて日奈久のスタンラリーに行きました。「まち歩きガイド本」がとても役立ちました。
○日奈久温泉街のお雛様が、とても綺麗で癒やされました。
○ひなぐ雛手作りの体験がとてもかわいいお人形ができて、楽しいひとときでした。
○日奈久温泉の展示が良かったです。
○買い物に行くときにかわいなお顔にほっとし、楽しんでます。日奈久巡りをし、また元気をいただきました。
○雅太鼓がすごかった。温泉にも入れて良かった。

待合室コンサート

百回目!!

おれんじ鉄道が開業した平成16年から日奈久温泉駅コンサートが始まり、今回で百回目となりました。
3月3日(日)、養田昌子さん(八代市)のアカペラ演奏、野入さん(塩北町) 吉田さん(塩南町)など8名によるお手玉披露、竹崎さん(山下町)の熱唱「哀愁列車」などにお客様方も楽しんでおられました。



歌に合わせてお手玉を披露

特別寄稿

日奈久出張所の川元豊事が、この3月末で定年退職をされます。長きにわたり日奈久に関わっていた川元様に、日奈久への思いを語っていただきました。



日奈久の想い
出は、小さい頃に亡き母が初めて連れて来た日奈久温泉センターでした。
その当時は、日奈久温泉も賑わっており、沢山の人が混雑していたことを覚えています。
その後の日奈久温泉の衰退は、寂しいものがあります。現在、校区人口2,701人(平成31年2月末)、宿泊客数19,177人(平成29年度)と、最盛期の人口では約3分の1、宿泊客数は約15分の1です。
私がこれまで日奈久出張所に勤務し、懸念していることは、まず日奈久校区の「過疎」と「高齢化」です。市内で「坂本」「泉」「日奈久」の順に人口減少が著しいのです。校区の中には、独りや二人暮らしの高齢者が目立ちます。このような現状を認識することではないでしょうか。

《考え提案する時》
「過疎化などは市役所が考えること」と云われそうですが、市役所の対策もどうしても画一的にならざるを得ないのです。校区の皆さんが、校区の地域性を考慮し、真剣に考え、市に「こういうことはできないか」と提案する時なのです。それが真の住民自治であると思います。

《もてなしと声かけ》
過疎化の大きな要因の一つは、日奈久の基幹産業である「旅館業」の縮小です。
まずは、日奈久の旅館が真剣に「お客様本位」に立ち返り、自分たちで出来ることを一生懸命やり抜くことだと思います。日奈久の温泉は素晴らしいというものは、ご周知のとおりです。あとは旅館で「どうおもてなしするか」この基本に徹することに掛かっています。また、観光客が喜ばれるのは、地元の人からの声かけです。「どこから来なはったかな」の一言が喜ばれます。そのふれあいが日奈久の振興に役立つのです。真の日奈久温泉の奮起を期待します。

《育てたい住民自治会》
一方、人口減少には「お金の循環」「仕事」「人」が鍵になります。まずは、出来ることからの取組みが重要です。現在の日奈久住民自治会の働きは素晴らしいものがあります。ただ、今後ではどこから、無償ボランティアを有償に変えていく。そして、住民自治会が独自資金の取得のための形態を整え、地元の特産の活用による製品作りや販売、地元の福祉に沿う事業の開発に取組み、地元にお金を落とし、仕事と人材を確保して、永続できる組織にすることだと思えます。その一歩ずつの小さな取組みが日奈久の活性化に活力を与えると考えます。

母(駅前朝市で魚行商)と子(私)がお世話になった大切な「日奈久」が少しでも元気になることを心から祈念します。

最後に、長年にわたり校区の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



街角スナップ

肥後銀行では、スプリングフェスタに向けてパンジーと80本のチューリップが咲きます。

みんなで築こう 人権の世紀



- 《人権標語》
- 心の傷 治す薬は 友の言葉 6年 中山 亜弥
- みんなでじっくり見てみよ 友だちの心 6年 谷口 真菜
- 一人一人 命を守ろう 大切に 6年 城下 世那
- みんなで作ろう 笑顔いっぱい クラス 6年 楠岡 麻菜
- 子どもたちは、お互いや命を大切にすることを学び、発信しています。家庭や地域でも話し合い、広めていきたいと思います。



4年丸尾 うらら

(広告欄)